



2024年11月14日

各位

会社名 岡本硝子株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 岡本 毅  
(コード番号 7746 東証スタンダード)  
問合せ先 財務経理部長 風間 卓  
電話 04-7137-3111

営業外費用の発生及び2025年3月期第2四半期(中間期)業績予想と  
実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025年3月期第2四半期(中間期)において、営業外費用を計上するとともに、2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外費用の内容

2025年3月期第2四半期(中間期)において、為替差損46百万円を計上いたしました。これは主として米ドルに対して円高が進んだことにより外貨建ての売掛債権につき発生したものであります。

2. 2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績値の差異  
(2024年4月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,260	百万円 40	百万円 10	百万円 2	円 銭 0.09
実績値 (B)	2,240	△25	△89	△81	△3.52
増減額 (B-A)	△20	△65	△99	△83	
増減率 (%)	△0.9	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	2,035	△79	△36	△43	△1.88

実績値との差異が生じた理由

当第2四半期(中間期)において、ガラス容器への加飾蒸着の売上高は計画を大きく未達しましたが、フライアイレンズの売上高が計画を上回ったことなどにより挽回し、売上高は前回発表値を20百万円下回るに留まりました。しかしながら、フライアイレンズ及び照明等の外注費が増加したことにより、加飾蒸着の不調を利益面では十分に挽回できず、営業利益は前回発表予測を65百万円下回りました。また、米ドル建ての売上債権に係る為替差損が拡大し、経常利益は前回発表予測を99百万円下回りました。

なお、通期の業績予想につきましては、ガラス偏光子の受注が好調なこと、また、当第2四半期(中間期)で採算悪化の要因となった外注費の改善目途が立ったこと等により、公表の予想値を据え置きます。

以上